

受賞おめでとうございます

(社)日本河川協会「河川功労者」表彰

大川愛護会 (桑原英則会長)

平成15年の今福川河川公園整備を機にボランティア河川愛護団体を設立。今福地域振興会、今福地域自治会、松浦商工会議所今福青年部、今福地区婦人団体連絡協議会、今福小中学校PTAなど約100人の会員がいます。

同会では、二級河川今福川の河川堤防敷や河川公園で、春・夏・秋の年3回、会員のほか地元の中高生も参加し、毎回100人前後で草刈と清掃活動を行っています。また、活動で刈り取った草を地元の畜産農家に飼料として活用してもらうなど環境にも配慮しています。



葉たばこ振興協議会優良農家表彰

〔長崎県農業会議会長賞・個人の部〕

葉たばこ生産農家

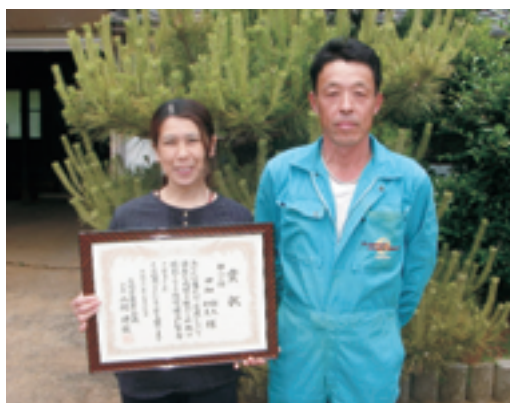
田畑 新太 さん

あいらた (鷹島・三里、48)

和美 さん

かすみ (鷹島・三里、45)

田畑さん夫妻は、2・7畝の農地で葉たばこを生産。質のよい葉たばこを年間約5・7ト出荷するなど葉たばこ生産において、他の模範となる経営確立に努力されたとして表彰されたものです。



車いすマラソンで4度目の優勝

佐賀セラミックロード車いすマラソン大会2009

〔女子1キロの部 優勝〕

大浦 幸子 さん

さちし (御厨・泉、20)

大浦さんが5月24日に有田町で開催された同大会で4度目の優勝を果たしました。大浦さんは、先天性骨形成不全症で幼いころから車椅子を利用。小学生のころに同車いすマラソンに出会い、中学3年で初優勝し、今回で4度目の優勝となりました。



県少年空手道大会で優勝

第25回長崎県少年少女空手道選手権大会兼第9回全日本少年少女空手道選手権大会 (県予選会)

〔形の部 (小学2年生男子) 優勝〕

川中 颯 君

そう (志佐・里1、8)

川中颯君が5月2日と3日の両日、県立武道館で開催された同大会で優勝しました。川中君は拳城館松浦支部 (松本勝久支部長) 所属。同大会には同じ道場に所属する姉の川中彩耶さん (10) も参加し、形の部 (5年生女子) で3位に入賞しました。また、同道場に所属する兄の川中碧君 (12) は4月29日に熊本県八代市で開催された第9回連合会九州地区空手道大会形の部 (中学生男子) で準優勝しました。颯君と碧君はそれぞれ東京 (8月)、大阪 (10月) で開催される全国大会に出場します。



写真右から川中颯君、碧君、彩耶さん



友広市長、椎山議員、金内市議、2人のよかとこ大使が秋山監督を表敬訪問。鷹島のイリコやフグ加工品、阿翁石のお守りなどを渡し市をPRしました。

松浦を売り込め！

市政ピックアップ

市では、「定住促進」や「交流人口拡大」など、市がさらに元気になるさまざまな取り組みを行っています。

今月号から、市が計画または実施しているその取り組みの中からピックアップして紹介します。

取り上げた事業の中で不明な点や、取り上げてほしい事業などがありましたら総務課秘書広報係が担当課までお尋ねください。

今回紹介する取り組み

○福岡都市圏交流促進事業

―「鷹島」PRプロジェクト―

市では、市民生活をより豊かなものとするため、本地域が持つ「資源」を活用・PRすることで、福岡都市圏などから多くの来訪者呼び込み、「外貨」を取り込み、交流人口の拡大を進めることを目的とした「福岡都市圏交流促進基本計画」を策定し、さまざまな取り組みを始めました。

その一つが勝利を呼び込む「鷹島PRプロジェクト」。鷹島肥前大橋開通を機に、「鷹」つながりで、幅広い年齢層に人気がある福岡ソフトバンクホークスをPRの媒体として活用し、市のPRに取り組んでいます。

―「鷹島」PRプロジェクト―

公式ゲームスポンサー事業

約730年前の元寇で「神風」が吹いた鷹島の歴史を活用し、「鷹」つながりで市はプロ野球福岡ソフトバンクホークスとスポンサー契約を結びました。これは市の知名度アップと交流人口の拡大を目的としています。

また、5月23日には本市が冠スポンサーとなった対広島東洋カープ戦が行われ、本市からも約500人の観戦ツアー客がヤフードームを訪れました【写真①】。

ヤフードーム内では松浦よかとこ大使の辻笑菜さん（志佐・不老山、21）と志水彩夏さん（福島・播磨釜、21）が両チームに花束を贈呈【写真②】。コンコース内には設置された観光PRブース【写真③】では

松浦市のPRと鷹島の阿翁石で作ったお守りの販売をしました。また、市内の子どもたちもグラウンドでホークスの選手と触れ合ったり【写真④】、中学校新人戦の優勝投手の福島中3年永田素輝くんが始球式【写真⑤】をしたりしてプロ野球選手との交流を楽しみました。

試合は「勝利の神風」が吹き、ホークスの勝利。勝利の花火とともにドームの屋根が開き、ホークスビジョンには松浦市のPRの映像とともに市をPRするアナウンサーが流れました【写真⑥】。試合後、観光PRブースには多くの人が立ち寄り、ヤフードームを訪れた多くの人に松浦市のPRができたようです。



○問合せ先

福岡都市圏交流推進室、企画財政課、水産商工観光課